

# 京都市地域公共交通計画の策定に向けた 基本的な考え方（イメージ）

## 1 計画策定の背景・目的（第1回協議会資料から抜粋）

近年、人口減少や少子高齢化の進展、運転士・整備士といった公共交通を支える担い手不足の更なる深刻化など、地域の公共交通を維持・確保するうえでの課題が顕在化しつつあります。

加えて、コロナ禍でのライフスタイルや交通行動の変容（テレワーク・オンライン授業の普及等）による交通需要の減少やインバウンドを中心とする観光需要の減少の影響を受け、交通事業者は一層厳しい経営環境に置かれています。

今後、高齢者の運転免許証返納の増加等を背景に、公共交通に対するニーズは高まり、ますます多様なものが求められていく一方で、人口減少社会の到来に伴い、公共交通は利用者減少が見込まれ、維持・確保がますます厳しくなることが予想されます。

このような中であっても、将来にわたって地域の特性やニーズに応じた持続可能な生活交通を維持・確保していくため、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく協議会を設置し、「京都市地域公共交通計画」を策定することとしました。

## 2 計画策定の基本的な方針の考え方

- (1) 昨年度改定した『「歩くまち・京都」総合交通戦略2021（以下「戦略」という）』の理念や基本方針を踏襲することとします。
- (2) 本計画は、「地域の特性やニーズに応じた持続可能な生活交通の維持・確保」に向けて策定することから、戦略に定める3つの取組の柱のうち、**柱1**「持続可能なまちづくりを実現する公共交通ネットワークの形成」の施策・推進項目を基本に、今後5年間に重点的に取り組んでいく内容を取りまとめます。

※ 第3回協議会において現状・課題を整理することとしており、それらを踏まえ、改めて理念・基本方針等を確認いただきます。また、議論の進捗に応じて、取組内容等の整合を随時、確認してまいります。

### ◆理念（案）

- ① 市民生活を支える交通手段の維持・確保 と、
- ② 都市の未来を見据えた公共交通の利便性・快適性の向上 によって、「歩くまち・京都」の基本理念である「人と公共交通優先のまちづくり」を継承・進化させます。

## ◆基本方針（案）

### ①市民生活を支える交通手段の維持・確保

- ✓ 交通事業者や行政の相互連携を一層強化することによって、持続可能な都市を支える公共交通ネットワークの維持・確保を図ります。
- ✓ 地域の特性やニーズに応じた生活交通の維持・確保に向けて、地域が主体となった取組への支援や、福祉輸送などの地域の輸送資源の活用等、多様で持続可能な移動手段の確保に向けた取組を進めます。
- ✓ 公共交通の担い手不足解消や移動手段の確保に向けて、新たな技術や多様なモビリティの活用等の取組を推進します。

### ②都市の未来を見据えた公共交通の利便性・快適性の向上

- ✓ スムーズで分かりやすく、より便利に移動できる環境や公共交通の安心・安全の一層の向上により、公共交通の利用を促進します。
- ✓ 生活交通と観光交通の錯綜の解消に向け、混雑対策を一層進めることにより、円滑で快適な移動環境となるよう、新たな技術やモビリティサービスを活用しながら取組を進めます。